

交通事故相談所

「車社会」の中で生活している私たちにとって、交通事故は、予期せぬときに発生します。もし、交通事故に巻き込まれたらどうすればいいか、ご存じですか。

損害賠償などさまざまなことについて双方の主張がくいちがっていたり、無理難題を言われたりする場合などは、経済的にも精神的にも大きな負担となることがあります。滋賀県ではそのようなことでお困りの方に「交通事故相談」を実施しています。お気軽にご相談ください。



相談窓口

◆滋賀県立交通事故相談所

大津本所（県庁別館内）

大津市松本一丁目2番1号

☎077-528-3425

窓口相談：月曜日から金曜日まで

電話相談：月曜日から金曜日まで

◆滋賀県立交通事故相談所

彦根分室（湖東合同庁舎内）

彦根市元町4番1号

☎0749-27-2630

窓口相談：火曜日・木曜日

電話相談：月曜日から金曜日まで

相談時間

午前9時から午後4時まで

（土・日・祝日は休み）

相談は無料です。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当

☎05578 有線07784



※東近江合同庁舎でも相談員が出向き、相談を実施しています。
相談日など事前に、上記の各交通事故相談所に電話で予約してください。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

五月晴れの陽ざしのなかで正法寺の藤が紫の花房をつけ、ダリア園ではボタンが咲き誇っていました。里山リニューアル事業で整備された正法寺山には山頂

に続く遊歩道が整備され、頂上からの見晴らしは絶景。眼下に鎌掛の集落をのぞみ、その後景に日野平野が広がっていました。静かでのどかな風景に心が和みます。

そうした状況とほど遠いのが沖縄。4月25日、9万人の沖縄県民大集会で普天間高校の生徒代表は「授業中、窓をかすめる米軍機の爆音。基地は仕方がないからと諦めていないか」と問いかけ、「一人ひとりが考えれば何かが変わる」と訴えました。そして結びの言葉は「未来は私たちの手の中に」。この言葉の中には自らが社会を変えていくという自覚と決意が込められています。

兵器のない平和な国際社会に変えようと「コンクリート優先から人優先へ」「平成の維新」をめざすチェンジが世論になりました。そうした中で5月にはニューヨークでNPT核不拡散条約再検討会議が開催され、核抑止論に固執してきたアメリカも核兵器廃絶の方向に一歩を踏み出しました。

しかし、経済や暮らしの分野では、完全失業率は高く、有効求人倍率は低く、低所得者が増加し「変わらないではないか」という失望の声が広がっています。1年前、国民が求めたのは、金が儲かればいいという強いもん勝ちの社会から誰もが幸せになる社会へのチェンジ、米軍基地の県内ではなく「県外移設」でした。しかし、今「企業の国際競争力」だとか「軍事による抑止力」だとか「一見もつともらしい」「勇ましい」言葉をこれまでのように使い、国民に痛みを押し付けてきた古い政治の呪縛から脱却できずにいます。古い政治の殻を打ち破り、逆戻りせず、ブレずにまっすぐに国民生活を優先する政治、「真のチェンジ」を実現するために、この夏、一人ひとりが考え行動しましょう。